



さんわ四季報 夏号 2013年 vol.46

【社内勉強会を始めました】

四月から各部署で順番に、自分たちが学んだ事をメーカーさんにご協力を頂き、社内全体に教える勉強会を月に一度のペースで行っておりますのでご紹介させていただきます。

四月度は営業部設計課の主催で【認定低炭素住宅】について総務部や新入社員にもわかりやすく、基本から勉強致しました。直接、設計や施工に携わっていないものでも、認定低炭素住宅と言うフレーズは良く耳にしていたのですが改めて「認定低炭素住宅とはどんな住宅ですか？」と聞かれると、今までは、はっきりと答える事が難しかったように思います。しかし、今回の勉強会を通じて認定低炭素住宅とはどのような住宅なのかを社員全員が理解出来たと思っております。先日、弊社に『日本住宅新聞』さんからの取材がありました。添付させて頂きましたので是非ご覧下さい。
※【認定低炭素住宅とは】省エネ性能が高い（省エネ新基準より、一次エネルギー消費量が-10%以上を満たす）市街化地域に建つ住宅を地方自治体が認定するもの

五月度は総務部の主催で【電気料金の新料金メニュー】について勉強致しました。今回、東京電力さんから発表された内容は朝得プラン・夜得プラン・半日プラン・土日プランの四種類です。ライフスタイルに合った料金体系を各家庭で選べると言うとても便利な内容です。各プランの割引料金は少し異なるのですが、今までの従量電灯から比べると、とても魅力的な単価設定でした。ご自身のライフスタイルがどの内容に適しているのかをお知りになりたい方は、東京電力さんのホームページで登録（無料）すると、過去二年間のデータを元に最適なプランをご紹介して頂けます。

東京電力ホームページ <http://www.tepco.co.jp/index-j.html> お電話でのお問い合わせも可能です。

フリーダイヤル 0120-933-052（休祝日を除く9時～17時まで）

※どちらも **電気ご使用量のお知らせ**（検針票）をお手元にお問い合わせ下さい

～新入社員からのメッセージ～

四月に二回新人研修会に弊社から田中・青木の二名が参加させて頂きました。新社会人としてのマナー、建築の基礎知識、営業のノウハウなど様々なことを学ばせて頂きました。社会人となり正直戸惑いもたくさんありましたが、それを前向きな気持ちに変えさせて頂ける内容で、とても良い経験をさせて頂きました。学んだことを生かして、日々精進しお客様の為に頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

トドのひとり言 ぶつぶつ...

今回は消防少年団を紹介させていただきます。東京消防庁の中に81署の消防署があります。少年団はその中に3000人います。この人数を3年で6000人にしなさいと都知事の号令があり町田署も頑張ろうと話し合った結果、例年は6～7人が入団すれば良い方なのですが、今年は何と36人も少年少女が入団し震災や災害に対する関心の高さを感じました。数年前までは小学校3年から中学3年生迄でしたが、昨年からは小学校1・2年生も入団するようにして総勢73名になりました。この消防少年団は何をするかと言いますと、ロープの結び方・火災報知器の使い方を手始めに119番の掛け方等々を入団早々に習います。又、町田消防少年団では水防訓練・水難救助訓練・応急救護訓練・夏季キャンプ・庁震災訓練・火災予防運動・消防団の出初式参加・技能試験等々多くの訓練をします。中でも最大の訓練は大地沢キャンプ場から町田消防署迄の約30kmの道のりを歩く徒歩訓練です。昨年は小学校1・2年生も全員落後者なく、心配して共に歩いてた父兄は皆グツタリ（笑）子供達の強さと可能性にビックリしていました。

「30km歩けると言う事は横浜や渋谷・新宿で電車が止まっても自宅まで帰れるという勇気を身につけました」と私は毎年挨拶します。先日5月26日も市の水防訓練に53名の少年団員が出席し土嚢を作る訓練をしたが、見学の父兄からは「可愛い」「しっかり訓練しなさい」と声が飛び交っていました。この様に色々と訓練をするにはお金がかかります。この資金を全面的に援助する町田消防団育成会と言う会があり、年間かなりの金額を援助しています。不肖の私がその会の会長をさせて頂いています。尚この会は「金は出しても口を出さな」という掟があります。町田消防少年団の歴史は35年、育成会の歴史は33年になります。